



丹後地域 第 34 号

リハビリ通信

～うさぎのプランコ～

編集/発行

丹後圏地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院内)
〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷 158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302

e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com

<http://www.tangohp.com/tangoshien.html>

ホームページより PDF 形式でご覧いただくことができます

看護職・介護職リハビリテーション ステップアップ研修会 開催報告

「誤嚥性肺炎予防の リハビリテーション」

令和元年 7 月 19 日 (金) 開催

講師：平野 裕則 氏

(丹後中央病院 理学療法士 呼吸療法認定士)

参加者：42 名



呼吸の基礎から学び、実際に体験してみました

研修会のポイント

- ・食事の姿勢に注意し、誤嚥を防止する
- ・口腔ケアをしっかりと行い、肺炎の菌を少なくする
- ・体力を維持して、免疫力を高める（肺炎になりにくい身体づくり）

研修会アンケートより

明日から実践していきたいことは？

- ・体位に工夫をしていきたい
- ・食事中、食後の介助方法や体位などに配慮する、キザミにはしっかりとろみをつける
- ・日々の運動と口腔ケアを実践していきたい

第 1 回事例検討会「地域包括支援センターと リハビリテーション専門職の協働」 開催報告

日 時：令和元年 8 月 6 日（火）

時 間：14 時 00 分～16 時 30 分

会 場：大宮ふれあい工房

情報提供： 小山 佳子 氏（与謝野町福祉課 社会福祉士）

坂戸 留美 氏（京丹後市健康長寿福祉部長寿福祉課 保健師）

中川 拓哉 氏（宮津市健康福祉部健康・介護課 主任介護支援専門員）

坂井 亜紀子 氏（伊根町保健福祉課 社会福祉士）

参加者：28 名

地域包括支援センターの役割、事業内容の講義や丹後地域の各市町の高齢者の実情、具体的な施策について情報提供して頂きました。

その後、各市町に分かれてグループワークを行い、
①地域包括ケアにリハ職が関わることで協働したこと
②今後地域包括ケアで実践していきたいことを話し合い発表しました。



地域包括支援センターとは

目的

高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的及び継続的な支援を行う

保健師又は経験のある看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の 3 職種がそれぞれの専門性を活かしたチームアプローチを行う

設置状況

丹後圏域

- ・京丹後市（センター 1、分室 1）
- ・宮津市（直営 1、委託 1）
- ・伊根町（直営 1）
- ・与謝野町（直営 1）

研修会アンケートより

リハ専門職が地域包括ケアにおいて発揮できる、専門職としての役割

- ・専門知識をもとに、地域を盛り上げる！！
- ・地域づくり
- ・所属施設から出向できる体制づくり

第 2 回事例検討会「障害分野と

リハビリテーション専門職の協働」 開催報告

日 時：令和元年 9 月 25 日（水）
時 間：13:30～15:30
会 場：勤労者総合福祉センター野田川わーくぱる
内 容：1) 情報提供

「あゆみが丘学園におけるリハビリテーションの取組み
リハビリ委員会の立ち上げと実際の症例について」

井戸本 博 氏 障害者支援施設あゆみが丘学園 介護福祉士

松森 幸美 氏 障害者支援施設あゆみが丘学園 看護師

「施設における週 1 回のリハビリ支援で考慮した点について」

松田 佳憲 氏 丹後中央病院 理学療法士



情報提供のまとめ

施設側

リハビリスタッフが来て対象者にリハビリを行って
もらっていた



リハビリのできる職員を増やし、「自分たちが行う」へ

リハビリ側

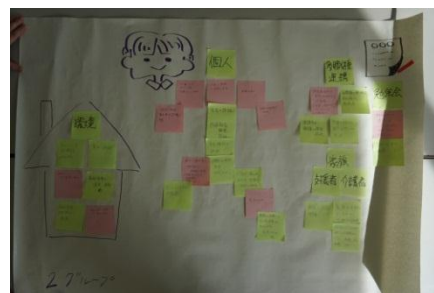
様々なセラピストがリハビリを行っていた



担当セラピスト 2 名体制（内容を統一）へ
プログラムの提案・実施方法の伝達を行う

2) グループワーク

- ①障害分野が今後リハ専門職に依頼したいこと
- ②リハ専門職が今後障害分野と協働したいこと



研修会アンケートより

障害分野の声

- ・事業所へリハビリ職をお呼びして対象者
をみてもらっている
- ・リハビリ機能訓練などアドバイスをもら
えるよう時間設定して取り組んでいる

リハ専門職の声

- ・知識不足があり障害を持っている方との接し
方が難しいと感じる
- ・いろいろな関わり方があると思うので、可能
な範囲で今後は関わりたい

移乗・福祉用具について、研修を行いました！

訪問相談

福祉用具の使用方法や紹介を受けて知識を深める
福祉用具を利用して安全な介助方法を学ぶ

ある事業所の研修会にリハビリテーション支援センタースタッフが講師として参加しました。

参加者：事業所職員

福祉用具業者

車いすメーカースタッフ

リハビリテーション支援センタースタッフ



【内容】

- ・事例を通して、4グループで安全な移乗方法及び食事のポジショニングを検討
- ・福祉用具の紹介
- ・Q&A



福祉用具業者様、車いすメーカー様には様々な用具の情報提供や説明をしていただき、福祉用具についての知識や理解が深まりました。

グループワークでは、参加者の皆さんの積極的なディスカッションがあり、活発な研修会になったのではないかと感じます。

また、皆さまとの交流・連携にもつながったのではないかと思います。

訪問相談などお気軽にご相談ください
(申込方法: ホームページより申込用紙ダウンロード → FAX)